

桜環境センター維持管理記録書(平成30年4月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	1,883
		2号炉	5,576

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	4月30日	965	800 以上
		2号炉	4月30日	965	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	4月30日	165	概ね 200 以下
		2号炉	4月30日	165	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	4月30日	3	100 以下
		2号炉	4月30日	3	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施個所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
2号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ^{※3}	1回/年	煙突 (チャンリング口)	1号炉			- ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉			- ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値			
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (チャンリング口)	1号炉			- m ³ N/h	- m ³ N/h			
						- ppm				
ばいじん	1回/2月					- g/m ³ N	0.04 g/m ³ N			
						塩化水素	1回/2月	- mg/m ³ N	200 mg/m ³ N	
- ppm										
窒素酸化物	1回/2月		- ppm			180 ppm				
全水銀	1回/4月		- µg/m ³			50 µg/m ³				
硫黄酸化物	1回/2月		煙突 (チャンリング口)			2号炉			- m ³ N/h	- m ³ N/h
									- ppm	
ばいじん	1回/2月								- g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
		塩化水素		1回/2月	- mg/m ³ N				200 mg/m ³ N	
- ppm										
窒素酸化物	1回/2月	- ppm	180 ppm							
全水銀	1回/4月	- µg/m ³	50 µg/m ³							

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

桜環境センター維持管理記録書(平成30年5月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)	
	可燃ごみ	1号炉	5,593	
		2号炉	5,594	

項 目	測定位置		結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	5月31日	962	800 以上
		2号炉	5月31日	963	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	5月31日	163	概ね 200 以下
		2号炉	5月31日	164	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	5月31日	2	100 以下
		2号炉	5月31日	3	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日	
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去	
		2号炉	稼働時常時機械除去	
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去	
		2号炉	稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

項 目	データ	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ^{※3}		1回/年	煙突 <small>(サブリンク*ロ)</small>	1号炉	/	- ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	- ng-TEQ/m ³ N		

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4}^{※5}

項 目	データ	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物		1回/2月	煙突 <small>(サブリンク*ロ)</small>	1号炉	5月8日	5月22日	<0.026 m ³ N/h	58.7 m ³ N/h
							<1 ppm	
ばいじん		1回/2月					<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素		1回/2月					16 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
							10 ppm	
窒素酸化物		1回/2月					15 ppm	180 ppm
全水銀		1回/4月					0.54 µg/m ³	50 µg/m ³
硫黄酸化物		1回/2月	煙突 <small>(サブリンク*ロ)</small>	2号炉	5月8日	5月22日	<0.024 m ³ N/h	57.9 m ³ N/h
							<1 ppm	
ばいじん		1回/2月					0.002 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素		1回/2月					22 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
							13 ppm	
窒素酸化物		1回/2月					18 ppm	180 ppm
全水銀		1回/4月					0.87 µg/m ³	50 µg/m ³

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

桜環境センター維持管理記録書(平成30年6月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	5,503
		2号炉	4,008

データ 項目	測定位置		結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	6月30日	956	800 以上
		2号炉	6月30日	962	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	6月30日	162	概ね 200 以下
		2号炉	6月30日	163	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	6月30日	2	100 以下
		2号炉	6月30日	3	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施個所		除去を行った年月日	
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去	
		2号炉	稼働時常時機械除去	
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去	
2号炉		稼働時常時機械除去		

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ^{※3}	1回/年	煙突 <small>(サンプリング口)</small>	1号炉	/	/	- ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉			- ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 <small>(サンプリング口)</small>	1号炉	/	/	- m ³ N/h	- m ³ N/h
						- ppm	
ばいじん	1回/2月	煙突 <small>(サンプリング口)</small>	1号炉	/	/	- g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					- mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月	煙突 <small>(サンプリング口)</small>	2号炉	/	/	- ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					- μg/m ³	50 μg/m ³
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 <small>(サンプリング口)</small>	2号炉	/	/	- m ³ N/h	- m ³ N/h
						- ppm	
ばいじん	1回/2月	煙突 <small>(サンプリング口)</small>	2号炉	/	/	- g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					- mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月	煙突 <small>(サンプリング口)</small>	2号炉	/	/	- ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					- μg/m ³	50 μg/m ³

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

桜環境センター維持管理記録書(平成30年7月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)	
	可燃ごみ	1号炉	4,182	
		2号炉	2,253	

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	7月31日	964	800 以上
		2号炉	7月31日	966	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	7月31日	169	概ね 200 以下
		2号炉	7月31日	165	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	7月31日	3	100 以下
		2号炉	7月31日	3	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施個所		除去を行った年月日	
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去	
		2号炉	稼働時常時機械除去	
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去	
2号炉		稼働時常時機械除去		

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ^{※3}	1回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	7月2日	7月20日	- ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉			- ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	7月2日	7月20日	<0.023 m ³ N/h	51.4 m ³ N/h
						<1 ppm	
ばいじん	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	7月2日	7月20日	<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					9 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
						6 ppm	
窒素酸化物	1回/2月					16 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					- µg/m ³	50 µg/m ³
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	7月2日	7月20日	<0.025 m ³ N/h	54.1 m ³ N/h
						<1 ppm	
ばいじん	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	7月2日	7月20日	<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					5 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
						3 ppm	
窒素酸化物	1回/2月					15 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					- µg/m ³	50 µg/m ³

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

桜環境センター維持管理記録書(平成30年8月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	5,861
		2号炉	5,861

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	8月31日	964	800 以上
		2号炉	8月31日	970	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	8月31日	168	概ね 200 以下
		2号炉	8月31日	164	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	8月31日	2	100 以下
		2号炉	8月31日	3	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施個所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
2号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ^{※3}	1回/年	煙突 (チャンリング口)	1号炉			- ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉			- ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値			
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (チャンリング口)	1号炉			- m ³ N/h	- m ³ N/h			
						- ppm				
ばいじん	1回/2月					- g/m ³ N	0.04 g/m ³ N			
						塩化水素	1回/2月	- mg/m ³ N	200 mg/m ³ N	
- ppm										
窒素酸化物	1回/2月		- ppm			180 ppm				
全水銀	1回/4月		- µg/m ³			50 µg/m ³				
硫黄酸化物	1回/2月		煙突 (チャンリング口)			2号炉			- m ³ N/h	- m ³ N/h
									- ppm	
ばいじん	1回/2月								- g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
		塩化水素		1回/2月	- mg/m ³ N				200 mg/m ³ N	
- ppm										
窒素酸化物	1回/2月	- ppm	180 ppm							
全水銀	1回/4月	- µg/m ³	50 µg/m ³							

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

桜環境センター維持管理記録書(平成30年9月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	1,141
		2号炉	5,610

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	9月30日	965	800 以上
		2号炉	9月30日	960	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	9月30日	168	概ね 200 以下
		2号炉	9月30日	166	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	9月30日	2	100 以下
		2号炉	9月30日	2	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施個所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
2号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ^{※3}	1回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	9月4日	9月28日	- ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉			- ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	9月4日	9月28日	<0.025 m ³ N/h	54.3 m ³ N/h
						<1 ppm	
ばいじん	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	9月4日	9月28日	<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					6 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
						4 ppm	
窒素酸化物	1回/2月					20 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					0.29 µg/m ³	50 µg/m ³
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	9月4日	9月28日	<0.029 m ³ N/h	58.2 m ³ N/h
						<1 ppm	
ばいじん	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	9月4日	9月28日	<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					5 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
						3 ppm	
窒素酸化物	1回/2月					22 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					0.76 µg/m ³	50 µg/m ³

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

桜環境センター維持管理記録書(平成30年10月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	5,098
		2号炉	5,876

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	10月31日	956	800 以上
		2号炉	10月31日	954	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	10月31日	168	概ね 200 以下
		2号炉	10月31日	172	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	10月31日	2	100 以下
		2号炉	10月31日	2	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施個所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
2号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ^{※3}	1回/年	煙突 (ファンリング口)	1号炉			- ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉			- ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (ファンリング口)	1号炉			- m ³ N/h	- m ³ N/h
						- ppm	
ばいじん	1回/2月					- g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					- mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
						- ppm	
窒素酸化物	1回/2月	- ppm	180 ppm				
全水銀	1回/4月					- μg/m ³	50 μg/m ³
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (ファンリング口)	2号炉			- m ³ N/h	- m ³ N/h
						- ppm	
ばいじん	1回/2月					- g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					- mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
						- ppm	
窒素酸化物	1回/2月	- ppm	180 ppm				
全水銀	1回/4月					- μg/m ³	50 μg/m ³

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

桜環境センター維持管理記録書(平成30年11月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	5,533
		2号炉	1,613

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	11月30日	955	800 以上
		2号炉	11月30日	955	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	11月30日	173	概ね 200 以下
		2号炉	11月30日	173	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	11月30日	2	100 以下
		2号炉	11月30日	2	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施個所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
2号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ^{※3}	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	11月8日	11月30日	0.0011 ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	11月8日	11月30日	0.000027 ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	11月8日	11月29日	<0.023 m ³ N/h	54.9 m ³ N/h
						<1 ppm	
ばいじん	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	11月8日	11月29日	<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					22 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
						13 ppm	
窒素酸化物	1回/2月					17 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					- µg/m ³	50 µg/m ³
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	11月8日	11月29日	<0.025 m ³ N/h	55.1 m ³ N/h
						<1 ppm	
ばいじん	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	11月8日	11月29日	<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					8 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
						5 ppm	
窒素酸化物	1回/2月					22 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					- µg/m ³	50 µg/m ³

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

桜環境センター維持管理記録書(平成30年12月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	5,605
		2号炉	4,363

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	12月31日	958	800 以上
		2号炉	12月31日	954	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	12月31日	173	概ね 200 以下
		2号炉	12月31日	167	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	12月31日	2	100 以下
		2号炉	12月31日	1	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施個所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
2号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ^{※3}	1回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉			- ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉			- ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値			
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉			- m ³ N/h	- m ³ N/h			
						- ppm				
ばいじん	1回/2月					- g/m ³ N	0.04 g/m ³ N			
						塩化水素	1回/2月	- mg/m ³ N	200 mg/m ³ N	
- ppm										
窒素酸化物	1回/2月		- ppm			180 ppm				
全水銀	1回/4月		- µg/m ³			50 µg/m ³				
硫黄酸化物	1回/2月		煙突 (サンプリング口)			2号炉			- m ³ N/h	- m ³ N/h
									- ppm	
ばいじん	1回/2月								- g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
		塩化水素		1回/2月	- mg/m ³ N				200 mg/m ³ N	
- ppm										
窒素酸化物	1回/2月	- ppm	180 ppm							
全水銀	1回/4月	- µg/m ³	50 µg/m ³							

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

桜環境センター維持管理記録書(平成31年1月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	5,761
		2号炉	5,762

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	1月31日	967	800 以上
		2号炉	1月31日	961	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	1月31日	173	概ね 200 以下
		2号炉	1月31日	169	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	1月31日	2	100 以下
		2号炉	1月31日	2	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施個所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
2号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ^{※3}	1回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉			- ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉			- ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	1月16日	1月31日	0.042 m ³ N/h	57.3 m ³ N/h
						<1 ppm	
ばいじん	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	1月16日	1月31日	<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					7 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
						4 ppm	
窒素酸化物	1回/2月					18 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					0.94 µg/m ³	50 µg/m ³
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	1月16日	1月31日	<0.023 m ³ N/h	57.9 m ³ N/h
						<1 ppm	
ばいじん	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	1月16日	1月31日	<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					2 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
						1 ppm	
窒素酸化物	1回/2月					17 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					0.92 µg/m ³	50 µg/m ³

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

桜環境センター維持管理記録書(平成31年2月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	778
		2号炉	5,256

データ 項目	測定位置		結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	2月28日	963	800 以上
		2号炉	2月28日	964	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	2月28日	175	概ね 200 以下
		2号炉	2月28日	173	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	2月28日	1	100 以下
		2号炉	2月28日	2	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施個所		除去を行った年月日	
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去	
		2号炉	稼働時常時機械除去	
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去	
2号炉		稼働時常時機械除去		

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ^{※3}	1回/年	煙突 <small>(サンプリング口)</small>	1号炉	/	/	- ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉			- ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 <small>(サンプリング口)</small>	1号炉	/	/	- m ³ N/h	- m ³ N/h
						- ppm	
ばいじん	1回/2月	煙突 <small>(サンプリング口)</small>	1号炉	/	/	- g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					- mg/m ³ N	
	1回/2月					- ppm	
窒素酸化物	1回/2月					- ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					- μg/m ³	50 μg/m ³
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 <small>(サンプリング口)</small>	2号炉	/	/	- m ³ N/h	- m ³ N/h
						- ppm	
ばいじん	1回/2月	煙突 <small>(サンプリング口)</small>	2号炉	/	/	- g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					- mg/m ³ N	
	1回/2月					- ppm	
窒素酸化物	1回/2月					- ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					- μg/m ³	50 μg/m ³

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

桜環境センター維持管理記録書(平成31年3月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)	
	可燃ごみ	1号炉	5,880	
		2号炉	5,878	

データ 項目	測定位置		結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	3月31日	956	800 以上
		2号炉	3月31日	963	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	3月31日	174	概ね 200 以下
		2号炉	3月31日	177	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	3月31日	2	100 以下
		2号炉	3月31日	3	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施個所		除去を行った年月日	
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去	
		2号炉	稼働時常時機械除去	
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去	
2号炉		稼働時常時機械除去		

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ^{※3}	1回/年	煙突 <small>(チンブリング口)</small>	1号炉	3月13日	3月25日	- ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉			- ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 <small>(チンブリング口)</small>	1号炉	3月13日	3月25日	<0.029 m ³ N/h	58.6 m ³ N/h
						<1 ppm	
ばいじん	1回/2月	煙突 <small>(チンブリング口)</small>	1号炉	3月13日	3月25日	<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					3 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	1回/2月					2 ppm	
窒素酸化物	1回/2月					22 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					- μg/m ³	50 μg/m ³
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 <small>(チンブリング口)</small>	2号炉	3月13日	3月25日	<0.027 m ³ N/h	58.1 m ³ N/h
						<1 ppm	
ばいじん	1回/2月	煙突 <small>(チンブリング口)</small>	2号炉	3月13日	3月25日	0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					6 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	1回/2月					3 ppm	
窒素酸化物	1回/2月					20 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					- μg/m ³	50 μg/m ³

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。